

SMFアート寺子屋2019 アートプラットフォーム形成のためのメタデザインV

埼玉県立近代美術館 創作室／講座室

2019年11月17日(日) 10:00→17:00

参加・入場無料・先着順 定員:10名(第一部)／40名(第二部)

第一部

10:00→13:00 電子音響ピープルプロジェクト2019ワークショップ(定員10名):創作室

SMFの活動をベースに誕生した電子音響ピープルプロジェクト・ワークショップを実施し、ワークショップでは、コンピュータを用いて日常的な物品から出す音をモニタージュシ、音楽を作ります。完成作品は、共同制作作品としてサウンドインスタレーション化し、2020年3月に予定している「SMFアートの宝船展」で展示します。

第二部

14:00→17:00 シンポジウム／アートとそれを取り巻く社会(定員40名):講座室

・特別講演:ソーシャリー・エンゲージド・アートの成立背景と近年の動向
講師工藤安代(NPO法人 ART&SOCIETY研究センター代表理)

・SMFと電子音響ピープルプロジェクトの活動報告
柴山拓郎(電子音響ピープルプロジェクト代表・SMF運営委員)

・ディスカッション

アートは社会とどのように

結びついていくのか?
結びついているのか?
結びついていたのか?

申込み:

- ①ワークショップのみの参加
- ②シンポジウムのみの参加
- ③ワークショップ+シンポジウムの参加

「SMFアート寺子屋2019参加希望」と明記の上、住所・氏名・電話番号・メールアドレスおよび参加希望(①~③のいずれか)を記述し、お申込みください。申込先:メールかファックスでお申込みください。

メール: takuro@mail.dendai.ac.jp

ファックス:049-296-5311

申込み締切:2019年11月10日

主催:SMF(Saitama Muse Forum)

共催:埼玉県立近代美術館／日本学術振興会科学研究費助成事業・基板研究C「先駆的芸術音楽の多様な人々との共創を目的とした創造的フィールドのデザイン」(代表:柴山拓郎)／東京電機大学

協力:作曲・音楽文化研究室(東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系)

問い合わせ・連絡先:柴山拓郎(メール:takuro@mail.dendai.ac.jp ファックス:049-296-5311)

電子音響
PEOPLE
PROJECT

SMF
Saitama Muse Forum

TDU

東京電機大学
TOKYO DENKI UNIVERSITY

SMF(サイタマ・ミュージック・フォーラム)は、埼玉県内の5つの芸術・文化拠点(うらわ美術館、川口市立アートギャラリーアトリア、人間市立博物館アトリオ、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館)と、建築家、現代美術家、モダンダンサー、現代音楽作曲家、俳人、詩人などのアーティストや、美術教員、美術館／博物館学芸員たち、アートを通じた地域活動を展開する様々な市民によって構成されている集団です。多彩なメンバーがそれぞれのスキルやヴィジョンを持ち寄り、アートを軸としたプラットフォームを形成することを目的とした活動を2007年より行っています。その過程で多くの交流が生まれ、いくつかのアートイベントが県内に定着しつつあります。

およそ2年半のSMFアート寺子屋では、NPO法人 ART&SOCIETY研究センター代表理である工藤安代氏を招き、ソーシャリー・エンゲージド・アートの近年の動向や、その実践活動の誕生背景や具体的な実践手法についてお話しいただく講演を柱とし、電子音響ピープルプロジェクト・ワークショップと、その活動紹介を通じ、その意義や意図をどのように描き、共有していくか、講師、SMFメンバー、参加者でディスカッションします。

工藤安代(特定非営利活動法人 ART&SOCIETY研究センター 代表理事)



東京生まれ。多摩美術大学卒業、南カルフォルニア大学大学院、埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程を修了。民間企業にてパブリックアート事業のディレクションに携わった後、2009年特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センターを設立。以後、社会・地域における芸術文化活動の情報発信・調査研究・実践活動に取り組む。2010年、アーツカウンシル東京と共に「地域・社会と関わるアート」に関するアーカイブ事業「P+ARCHIVE」を開始する。近年はソーシャリー・エンゲージド・アートに関する研究会や展覧会等の主催や関連書の出版等を行ない、アドボカシー活動に力を入れている。主な著作に「パブリックアート政策」、翻訳書『ソーシャリー・エンゲージド・アート入門』、編書『ソーシャリー・エンゲージド・アートの系譜・理論・実践』等がある。

URL:<http://www.art-society.com>

連の流れとしてプロジェクトアート化したのが電子音響ピープルプロジェクトである。SMFでのワークショップやシンポジウムから得られた知見をもとに、コンピュータを用いた先駆的音楽を、多様な人々とともに共創することを試みている。

URL: <https://www.facebook.com/denshionkyopeople/>

SMF(Saitama Muse Forum) SMFはアートの力で地域とミュージアムを結び、多くの人がつながっていくためのプラットフォームです。SMFでは、趣旨に賛同し、ともに活動して下さる正会員、ご支援くださるフレンド会員(個人)、サポート会員(団体)を募集しています。正会員によるアートフォーラムも毎月開催中です。

URL: www.artplatform.jp

コーディネーター:三浦清史(SMF代表)／柴山拓郎(SMF運営委員)

スタッフ:本多慎吾・望月雄太・北島雄太・早田淳平・石川凌山・石井堅悟・松本実樹・鈴木勇輔・石川巧・井野響・加藤恵介・小菅一輝・小林智希・関矢空良・高根沢直柔・高橋良輔・松澤朋也・篠駱・和田義智・川崎拓海・川崎慎也・黒沢桃子・小島未羽・小林玄齊・金野大輝・佐々木虎太郎・清水玖也・鈴木健太・鈴木隆潤・土井理史・中村匠吾・橋本亮吾・間下拓海・吉川遼・吉田優理奈(作曲・音楽文化研究室)

電子音響ピープルプロジェクト

コンピュータを用いて、録音したものをモニタージュシ、電子音響音楽を作成するワークショップを柱として、ワークショップ後のベテランアーティストとの協働制作を通じた公演・展示やCD制作と販売(準備中)を